

アデノウイルス角結膜炎の 検査と臨床Update

2022年7月9日(土)

7:40~8:40

第3会場

(リーガロイヤルホテル広島 4階 クリスタルホール)



座長

内尾 英一 先生 (福岡大学)

アデノウイルス結膜炎は臨床や公衆衛生学的な重要性が高いウイルス感染症です。2019年から始まったCOVID-19によって、ウイルス感染症が社会や経済に与える影響の大きさが改めて広く認識されるようになりましたが、アデノウイルス結膜炎に関しても、21世紀以降標準的な検出法の変化に伴い、従来の血清型から遺伝子型となり、新型の出現によって、臨床の現場でも大きな変化が生じています。

このセミナーではアデノウイルス結膜炎の検査、臨床そして疫学について、その最新情報を、それぞれ川村朋子先生(福岡大)、佐渡一成先生(かまいしベイ眼科クリニック)、松浦一貴先生(野島病院)の3名のスペシャリストの先生方が解説されます。身近ではあるけれど奥深いアデノウイルス結膜炎の研究の成果が先生方の臨床のご参考になれば幸いです。



演題 1

アデノウイルス角結膜炎の最新の検査法

川村 朋子 先生 (福岡大学)



演題 2

性感症としてのアデノウイルス角結膜炎

佐渡 一成 先生 (かまいしベイ眼科クリニック)



演題 3

新型アデノウイルスの臨床像・疫学モデル

松浦 一貴 先生 (野島病院)

アデノウイルス角結膜炎の 検査と臨床Update

日時

2022年7月9日(土)
7:40~8:40

会場

第3会場

(リーガロイヤルホテル広島 4階 クリスタルホール)



座長

内尾 英一 先生
(福岡大学)

1985年 九州大学医学部 卒業
1991年 横浜市立大学医学部 眼科 助手
1993年 日本学術振興会特定国派遣研究者(ロンドン大学)
1995年 茅ヶ崎市立病院 眼科 医長
1996年 横浜市立大学医学部 眼科 講師
2000年 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 眼科 助教授
2005年 福岡大学医学部 眼科 教授



演者

川村 朋子 先生
(福岡大学)

2007年 宮崎大学医学部医学科 卒業
2007年 九州大学臨床研究センター臨床研修医
2009年 福岡大学医学部 眼科 医員
2010年 佐賀県唐津赤十字病院 医員
2012年 福岡大学医学部 眼科 医員
2016年 国立感染症研究所 感染症疫学センター 協力研究員
2020年 福岡大学大学院 医学研究科 博士課程修了
2021年 福岡大学医学部 眼科 助教



演者

佐渡 一成 先生
(かまいしベイ眼科クリニック)

1986年 順天堂大学医学部 卒業
1999年 順天堂大学 眼科 講師
2000年 さど眼科(宮城県仙台市) 院長
2020年 かまいしベイ眼科クリニック(岩手県釜石市) 院長



演者

松浦 一貴 先生
(野島病院)

1994年 島根医科大学医学部 卒業
1998年 鳥取大学大学院 博士課程修了
1998年 鳥取大学医学部 助手
1999年 ヒューストン大学視覚生理学教室
2001年 済生会江津総合病院
2003年 鳥取大学大学院 生体機能医工学講座 助手
2005年 医療法人十字会野島病院
2016年 鳥取大学 眼科 診療准教授
2019年 鳥取大学 眼科 診療教授